

第 87 号 2014. 3. 27

ぶちか 議会だより

ちびっこ議員がするどい質問・・・2 ページ

本会議場で子ども議会開催

給食施設工事などに 1 億 7 千万円・・・6 ページ

平成 26 年度予算決まる

第 4 次総合計画を決定・・・11 ページ

「介護施設の増床を」・・・12 ページ

一般質問に 3 人登壇

小笠原村から行政視察・・・16 ページ

編集 小値賀町議会 広報常任委員会

発行責任者 小値賀町議会議長 電 話 0959-56-3111

ちびっこ議員が鋭い質問

子ども視点からの質問に、いつもより？丁寧な答える執行部の皆さんでした。

子ども議会開催

「ただ今から、子ども議会を開きます。」 平田樹こども議会議長の声が議場に響きました。

「緊張する〜」
『心臓がドキドキ』
平成26年1月26日10時から小値賀町の議場で「子ども議会」が開かれました。
午前10時前にいよいよ議場へ入ります。
全員緊張気味です。魚屋校長先生も山口教諭及び本物の議員さんも全員後ろの席に座っています。
議長役の平田樹君が議長席につきました。高い位置が気に入ったのか、おもむろに片手を挙げてクラスメートに合図を送っています。
隣の事務局局長席には、安田真歩さんが座りました。



貝屋恵理さん

議長席の左右、通称ひな壇の席には、日曜日に
「ただ今より、子ども議会を開会します」大田立石議長の挨拶に続いて、子ども議長役の平田樹君が議長席につきました。高い位置が気に入ったのか、おもむろに片手を挙げてクラスメートに合図を送っています。
隣の事務局局長席には、安田真歩さんが座りました。

もかわならず、町長、教育長以下、課長級の職員が全員そろって座っています。
傍聴席には11名の保護者の方が、子ども達の初舞台を楽しみに陣取りました。
「リーン」午前10時、安田真歩こども議会事務局局長が開始ベルを鳴らしました。
「ただ今より、子ども議会を開会します」大田立石議長の挨拶に続いて、子ども議長役の平田樹君が議長席につきました。高い位置が気に入ったのか、おもむろに片手を挙げてクラスメートに合図を送っています。
隣の事務局局長席には、安田真歩さんが座りました。

「緊張する〜」
『心臓がドキドキ』
平成26年1月26日10時から小値賀町の議場で「子ども議会」が開かれました。
午前10時前にいよいよ議場へ入ります。
全員緊張気味です。魚屋校長先生も山口教諭及び本物の議員さんも全員後ろの席に座っています。
議長役の平田樹君が議長席につきました。高い位置が気に入ったのか、おもむろに片手を挙げてクラスメートに合図を送っています。
隣の事務局局長席には、安田真歩さんが座りました。



「ただ今より、子ども議会を開会します」大田立石議長の挨拶に続いて、子ども議長役の平田樹君が議長席につきました。高い位置が気に入ったのか、おもむろに片手を挙げてクラスメートに合図を送っています。
隣の事務局局長席には、安田真歩さんが座りました。



崎山富公衛さん



門田秀英君



辻浦 茂君



門脇梢平君



筒井尚史君



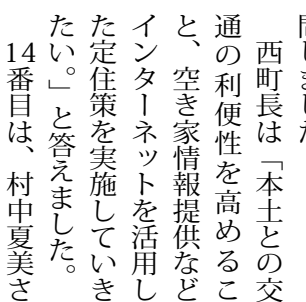
川村 希さん

で、「北松西高の存続について」質問しました。
浦教育長は、「県の方針では出来る限り存続。しかし、子どもの数の減少が続いており、将来に備えて、存続のために今出来ることを検討していきたい。」と答えました。
5番目は、崎山富公衛さんで「商店街の活性化と買い物弱者への対応について」質問しました。これに対して「活性化に取り組みます。」との答



永田宏紀君

6番目は、辻浦茂君で、「町の催し物の時のお楽しみ抽選会の当選者を増やして欲しい。」との意見を述べましたが、「難しい。」との答弁でした。
7番目は、筒井尚史君で、「総合グラウンドの砂の補充について」質問しました。
これに対して田川教育次長は、「改善が必要だと考えており、その方法の検討に入っております。」との答



平田 樹君

8番目は、永田宏紀君です。「観光案内の看板設置の必要性について」質問しました。
西町長は、「整備していきますが、皆さんも道に迷っている観光客がいたら、話しかけて道案内をしてください。」とお願ひしていました。
「しばらく休憩します。これから副議長と議長を交代します。」
10分間の休憩後、議長席には永田宏紀君が座り、事務局局長には辻浦茂君が座り、再開です。「おそろいようですのて始めます。次に平田樹議員。」



村田康成君

第4次総合計画を策定 人口2300人が目標?? 附帯決議で真の公共計画を示唆

3月5日から14日までの10日間の会期で、平成26年第1回定例会が開催されました。

今回の定例会は、平成26年度当初予算の審議を中心に、25年度補正予算、条例、総合計画の議決、景観計画の変更、過疎、辺地の計画の変更、地区住民センター等の指定管理者の指定等、町長提出議案35件、議員提出4件の合計39件の議案を審議しました。

一般質問には、3人の議員が登壇しました。(13頁～15頁)

初日の傍聴者は10人でした。

当初予算については、予算特別委員会を設置して、3日間の審議をしま

した。

2日間にわたり一般会計予算の質疑を行い、1日で特別会計の質疑を行いました。

その後の審議において修正案が2つ提出され、白熱した議論の末、一般会計予算は修正可決となり、特別会計7会計はすべて原案可決すべきものと決しました。

本会議では、委員会報告のとおり議決しました。(6頁)

決定された本年度の予算の中には、小中学校給食施設建設工事費関連1億7380万円、その他、燃油高騰対策費などがあります。(6頁～9頁)

平成26年度から平成35



平成26年度一般会計予算案を修正可決

給食施設工事着工へ、燃油高騰対策も実施

平成26年第1回定例会

最後は、安田真歩さんです。「きれいな海を守るために海岸清掃の回数を増やしたらどうか。」と提案しました。

西町長は、「きれいな海を守る取組は大事で

尾野診療所事務長は「二カ月から三カ月に一回の割合で特別に専門科の外来診察を行なっていますが、これ以上回数を増やすことや科を増やすことは大変難しいことです。」との答えがありました。

15番目は、護山義孝君で、「診療所の診察科を増やしてほしい。」と要望しました。



護山義孝君

升水遥平君

藤松義匡君



安田真歩さん



松永海千郎君



村中夏美さん

子ども達の感想は?

「緊張した～」

小値賀小学校6年生の皆さん、大変お疲れ様でした。いただいた感想文はどれも素晴らしかったです。紙面の都合上、代表して下に掲載します。

【平田樹君の感想】

ぼくは、議長だったのでドキドキしました。議長席に座ったときは、こ

こでやるのかと思いました。

議長の言葉をきくと、言えるのか心配でした。そして、議長を交代した後すぐに、自分の発表でした。

小値賀のイベントや行事を増やしてほしいことを提案しました。

自分が考えた行事を増やすのは、難しいといわれたけど、できるだけばくは増やしてほしいと思います。

もう少し小値賀のことを小値賀に住んでいない人に知ってほしいです。楽しい小値賀にしたいです。

【村中夏美さんの感想】

私は、「小値賀町にある廃屋」について質問することに決めました。こ

われて、原形をとどめていない廃屋は、小値賀に

来られる観光客の方に良い印象を与えないと思っ

たからです。そして、美しい小値賀町を楽しみに

来られる方に失礼だと思

ったからです。

そして、その意見を町長さんにぶつけてみました。すると、「確かに、どうしても見た目の悪い廃屋は、早急に準備を進めないといけないね。」と答えてくださいました。私の心は、達成感と喜びで満ちあふれました。

私は、この子ども議会

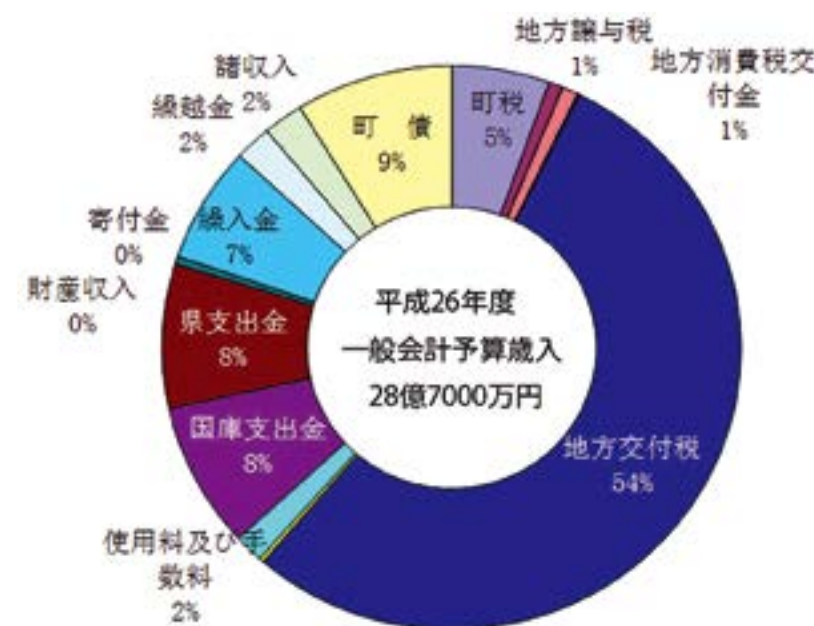
で、「自分の手で小値賀町をよりよくする」意見を出せる、とても貴重な経験をしました。このことが早く実行されて、今よりもさらに美しい小値賀町になるといいなと思いました。

新設事業よりも改修事業に重きを置いた予算に

イノシシ対策の本格化 農水産物の輸送コストの低廉化など産業振興に配慮

予算特別委員会で集中審議 平成26年度一般会計予算の企画費で小値賀会出席旅費補助金の減額修正案を可決し、委員会修正案として本会議へ

議会費	5927万9000円
総務費	3億6461万5000円
民生費	4億6417万9000円
衛生費	3億600万9000円
農林水産業費	4億6751万3000円
商工費	9852万1000円
土木費	2億3384万2000円
消防費	7546万7000円
教育費	4億6259万9000円
災害復旧費	8000円
公債費	3億1123万3000円
諸支出金	1960万円
予備費	713万5000円
合計	28億7000万円



町税	1億5731万1000円
地方譲与税	2260万1000円
利子割交付金	30万円
配当割交付金	15万円
株式等譲渡所得割交付金	4万円
地方消費税交付金	2560万円
自動車所得交付金	300万円
地方特例交付金	5万円
地方交付税	15億5000万円
交通安全対策特別交付金	1000円
分担金及び負担金	760万6000円
使用料及び手数料	4689万1000円
国庫支出金	2億3939万円
県支出金	2億3788万7000円
財産収入	1233万3000円
寄附金	9000円
繰入金	1億9131万7000円
繰越金	5900万円
諸収入	6461万4000円
町債	2億5190万円
合計	28億7000万円

ます。改修費が少し高いとの意見も出されましたが、完成後は、高齢者や観光客などの集いの場として公民館的要素を含めて運営されます。

ペットボトルなどの一時的置き場として活用するために旧パチンコ店を買ったので、改修関連費用に520万円。

また、農水産物の海上輸送コストの低廉化のための離島流通効率化・コスト改善事業に合わせて2700万円。イノシシ対策として、ワイヤメッシュ設置を15km拡大延長の予定です。

その他、産業振興、生活環境の整備、高齢者の保健及び福祉の向上、人材育成や交流人口の促進などが盛り込まれ、特に空き家を利用した住宅確保の為の様々なメニューが新設されました。

予算総額は、28億7000万円で昨年度より16、2%増額しています。

小値賀で始まった燃油高騰対策事業が、国や県を動かしました。

第一次産業の安定した経営のため燃油高騰対策や輸送運賃対策などの産業活性化対策を、いよいよ長崎県も取り組むようになりました。

小値賀町が、どこの町村より先んじて取組んできました燃油高騰対策等が県を動かしたのです。

最初はわずかな額だったかもしれませんが、燃油高騰に苦しむ漁業者に対して、そして農業者に対しての施策が、今や県内、いや全国に広がっています。

国も離島交付金の交付メニューに燃油高騰対策関連の項目や輸送コスト低廉化のための項目を入れ、支援を始めました。

今後共、安心して農漁業の経営の安定のための助成事業を推進していきます。

本町の本年度の漁業用燃油高騰対策事業費予算は、1200万円です。

農業用燃油対策事業費補助金に120万円です。



給食施設建設予定の場所（小値賀小中学校校舎横）

企画費の「小値賀会出席旅費補助金」を減額修正

予算特別委員会で3日間にわたり一般会計と特別会計の審議を行いました。

給食施設工事費についてや小値賀会出席旅費補助金についての意見が集中し、最終的に2つの修正案が提出されました。

1つ目は、アレルギーの心配があるということ

2つ目は、小値賀会出席旅費補助金のみが減額修正です。理由は、どうであれ、小値賀会の幹部が他の小値賀会に出席するための補助は、補助金支

出のあり方に重大な問題を内包しており認められないというものです。

最終的には、特別委員会で採決し、賛成多数で小値賀会出席旅費補助金を減額する修正案が可決しました。

よって、一般会計予算は本会議で委員長報告のとおり修正可決となりました。

特別会計7会計は原案のとおり可決しました。

当初予算の主なもの

当初予算の主なものは、給食施設工事費が基礎の関係で当初見積もりより多くなり、関連費用も合わせて1億7380万円になったことです。

また、景観維持のためと昭和初期の文化の香りを残すために旧尼忠東店の修復工事費関連が5400万円となってい

平成 26 年度特別会計予算の 7 会計の合計は、17 億 3713 万円（前年度比 8496 万 8000 円増加）

特別会計とは、特定の目的のために計上される予算で、国民健康保険税や水道料金など特定の収入があり、一般会計から切り離して収入・支出を経理する予算のこと、小値賀町には 7 つの特別会計があります。平成 2 6 年度は診療所を除く全ての会計で前年度に比べて増額となりました。

■下水道事業特別会計

予算総額 1 億 9350 万円（前年度比 2226 万 6000 円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
事業収入	2521 万 1000 円	総務費	6016 万 2000 円
繰入金	1 億 6730 万円	公債費	1 億 3293 万 8000 円
繰越金	98 万 6000 円	予備費	40 万円

主な質疑

問：大島終末処理場遠方監視装置更新工事の内容は？

答：設置後 1 6 年が経過しており、現在塩害等のため遠隔監視が出来ずに地区会長の手を煩わせている現状。更新により遠隔監視及び制御が可能となる。

■渡船事業特別会計

予算総額 6340 万円（前年度比 400 万円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
事業収入	813 万 3000 円	事業費	6124 万 1000 円
国庫支出金	2806 万 7000 円	公債費	178 万 1000 円
繰入金	1960 万円	予備費	37 万 8000 円

主な質疑

問：離島航路構造改革事業での調査事業委託とは？

答：「はまゆう」の新船建造に係る事前の調査であり、航路の現状、利用者の意識調査、経営の実態等を調査するもので、委託先は未定である。

問：納島港における待合所建造の概要は？

答：野崎港にある待合所程度のものを町有地に木造で建設する。

■国民健康保険診療所特別会計

予算総額 4 億 2500 万円（前年度比 300 万円減）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
診療収入	3 億 597 万 3000 円	総務費	2 億 1498 万 2000 円
繰入金	8250 万円	医業費	2 億 289 万 9000 円
町債	1260 万円	公債費	565 万 3000 円
諸収入	1260 万 6000 円	予備費	146 万 6000 円

主な質疑

問：診療所の建て替え構想については？

答：2 6 年度から庁舎内に検討委員会を設置して研究を始める。

■国民健康保険事業特別会計

予算総額 4 億 9395 万円（前年度比 2689 万円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
国民健康保険税	9059 万 7000 円	保険給付費	2 億 9888 万円
国庫支出金	1 億 2741 万円	後期高齢者支援金	5670 万 2000 円
前期高齢者交付金	1 億 1349 万 3000 円	共同事業拠出金	7716 万 2000 円

主な質疑

問：保険税滞納額が年々増え続けているが、徴収業務を外部機関に委託する考えは？

答：25 年度に個別の滞納状況を把握した。26 年度は督促、徴収体制を強化するが、滞納処分を進める中で、状況により委託することも検討しながら滞納額減少に努める。

■介護保険事業特別会計

予算総額 4 億 2700 万円（前年度比 2900 万円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
保険料	4940 万 1000 円	総務費	424 万 6000 円
国庫支出金	1 億 2562 万 5000 円	保険給付費	4 億 568 万 5000 円
支払基金交付金	1 億 2325 万 6000 円	地域支援事業費	1701 万 5000 円

■後期高齢者医療事業特別会計

予算総額 4698 万円（前年度比 431 万 2000 円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
後期高齢者医療保険料	2218 万 7000 円	総務費	268 万 6000 円
繰入金	2300 万円	分担金及び負担金	4426 万 3000 円

■簡易水道事業特別会計

予算総額 8730 万円（前年度比 150 万円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
事業収入	5459 万 6000 円	総務費	4379 万 8000 円
繰入金	3170 万円	公債費	4310 万 2000 円
繰越金	100 万円	予備費	40 万円

主な質疑

問：六島浄水場改良工事の内容は？

答：海水取水に替え、農業用ため池の水を取水し浄化するもので、コストが嵩む^{かさ}脱塩装置等が不要になる。

平成26年度において、17件の条例案が提出され審議の結果、全て原案可決されました。
今回可決された条例の中で、主なものは次のとおりです。

「使用料及び手数料その他税外収入の督促並びに滞納処分等に関する条例」の改正

この条例は公金の滞納が生じた場合、債権の種類等によって延滞金または遅延損害金が発生し、なお支払いがない場合には滞納処分（財産調査、差し押さえ等）、または強制執行手続きに移行していくことを規定したものです。

主な質疑は次のとおりです。

問 公債権に係るものは年に14、6%の延滞金を科すことになっているが、私債権については何%か。

答 法律の変更により変わるが、現在5%である。

問 町営住宅の家賃が滞納したと仮定した場合、どのような形で進行するのか。

答 住宅の場合は、私債権なので、滞納処分のような強制執行権はない。裁判所に強制執行の申し立てをして、認められれば強制執行に入ることになる。

「小値賀町空き家等の適正管理に関する条例」

この条例は、従来放置されたままの空き家に対し、一歩進んで所有者等に行政が介入していくことを規定したものです。命令に従わない場合、当該所有者名の公表などペナルティーを科すこともあります。崩落寸前の危険家屋があり、周囲に多大な迷惑をかけることが予測される中で、未然に対応策をとることを所有者に認識してもらうためのものです。

主な質疑は次のとおりです。

問 「必要な支援」とあるが、どこまでの支援なのか？

答 指導とか、公表だけでは、空き家の適正な管理は進まないと考えるので、空き家の解体費用や改修費用の助成等の支援を考えている。

問 危険家屋が増えて、解体か改修かの線引きはどうするのか。

答 実態調査をする時に、建物の老朽度、危険度の判定基準を規則化し、点数制で判断していく。

「小値賀町各種委員等報酬及び費用弁償条例」の改正

従来各種委員の報酬は一律10000円でしたが、今回の改正は一律30000円にアップするものです。主な質疑は次のとおりです。

問 財政改革の中で、苦渋の決断をして委員報酬を10000円に下げた経緯を知っているのか。

答 承知している。特別職報酬審議会の答申でこの金額を提示されたもの。この程度であれば財政的に問題はない。

問 一旦タガが外れるとあらゆるところに影響が出る可能性がある。財政規律の観点からなし崩しになることを懸念する。

答 財政規律はしっかり守っていく。今後も安易な見直しはしない。

行政計画から公共計画へ

「真の地域主権型の地域づくりのために、町民と行政が協働してつくり、共にビジョンを語り、お互いがその実現に責任を負う意識づくりを」と議会は附帯決議



第4次総合計画と附帯決議文

平成26年から35年までの10年間の小値賀町の総合計画が策定されました。

本町のあらゆる計画の上位に位置する計画です。10年後の小値賀をどうしていくかの目標を示し、それに向けた施策や取り組みの概略を示したものです。

めざす姿として、「町民が誇れるまち、訪れる人を魅了するまち」「地域資源を生かしたまちづくり、ブランドづくり」「福祉のまちづくり」を掲げています。

過疎の現実や人口推計などを参考に、10年後の人口の目標を2300人としています。

議会では、いささか弱気な人口目標設定である

と思っておりますが、基

本的な施策や各種の具体的な取り組みは、分野別にまとめられており、時期や成果目標も示され、一定の評価をするものです。

生活環境分野では、定住促進や防災、交通対策やごみ問題、景観の維持など住みよいまちづくりに関する計画を示しています。

福祉・保健・医療分野では、子育て支援、高齢者福祉や障害者福祉の充実、食育の推進や地域医療の充実などについての計画が示されています。

産業分野では、農業・水産業の振興、商工業の振興及び6次産業化の振興、そして観光の振興についての計画が示されて

います。

教育分野では、豊かな教育と文化のまちづくりを掲げ、幼児教育・学校教育の充実、社会教育の充実について、文化振興では、世界遺産登録に向けた環境整備などの計画が示されています。

行政分野では、協働のまちづくり、男女共同参画のまちづくり、持続可能な財政運営についての計画が示されています。

いずれ各家庭には、総合計画のダイジェスト版を配布することにしていくとのことですので、目を通してください。

今回の総合計画は、これまで(第3次計画まで)の計画とは大きな違いがあります。これまでの、地域づく



新しい公共計画の形として議会で試作した総合計画

り最上位として位置づけられる行政計画で長期展望をもって、計画的・効率的な行政運営の指針が盛り込まれ、総合計画の策定が義務付けられていました。

平成23年に地方自治法が改正され、総合計画を策定するかどうかは地方の自由となりました。すなわち行政中心の計画という性格から自主的

平成25年度一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ、1930万円を追加し、
予算総額を26億9303万1000円に
(主なものは、町債2100万円の増額)

平成25年度

後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ、7万8000円を減額し、
予算総額を4259万円に

平成25年度

国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ、1486万2000円減額し、
予算総額を4億1592万2000円に

平成25年度

国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ、1133万6000円を追加し、
予算総額を4億8610万円に

平成25年度

介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ、208万8000円を減額し、
予算総額を4億988万9000円に

平成25年度

渡船事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ、113万5000円減額し、
予算総額を5576万5000円に

いっぱん 一般質問 しゅもん

町民を代表して行政の問題点や政策及び課題の指摘や行政姿勢などを質す役割を担っているのが議員です。

一般質問は議員の華です。地域には幅広い課題、多様な意見が存在します。行政に対して、どの議員が自分の考えに近いのか、あるいは、新たな視点を示してくれる議員は誰か、また、代表者として役割をきちんと果たし信頼できる議員は誰かなど、町民の皆さんの判断材料としても重要な側面も持っています。

議会は言論の府と言われます。発言してこそ、その価値があるのですから、一般質問をどうぞ注目していただきたいと思います。

今回は、3人が一般質問をしました。「老人福祉施設の拡充について」と「庁舎内のエレベーター設置について」及び、「ふるさと納税について」、「ペット用火葬設備の是非について」でした。



で自由な公共計画的な性格へ変わってきたとみる
ことができます。
専門家や行政職員でつくる時代から、文字通り、町民が主体となって地域社会全体で策定する計画へと移行すべきです。
できるものから積み上げて作る計画もあります

が、10年後のあるべき姿を示し、実現に向けて官民一体となって努力する計画こそがこれからの計画ではないかと議会では考えています。
その意味でも、今回の第4次総合計画を原案可決するにあたり、今後の取り組みに活かしていた

だくよう議会としての附帯決議を行いました。
附帯決議の内容はつぎのとおりです。
① 5年後の見直し時期に町民主体の総合計画策定になるよう環境整備を行うこと。
② 見直しの時は、地域

社会全体で策定し、目標達成には、地域全体で責任を負うという公共計画になるよう、わかりやすい計画に努めること。
③ 次回策定時には、地域全体が10年後のビジョンを共有できるよう、それぞれ役割を示した計画にすること。

④ 計画に計上されていない政策課題についても迅速に対応していくこと。
⑤ 効率的、効果的な財政運営を行い、計画の進捗率の公表など、町民に分かりやすい管理体制を確立し、それを施策に反映すること。

以上決議する。
(本文抜粋)

そこが聞きたい
これはどう考える？

特別養護老人ホームの増床に 積極的な姿勢を

第6期介護保険事業計画策定委員会を早く開き検討

【問】宮崎議員

独居老人世帯の中で、待機者が50人いる状況であり、待機者家族から増床の声を聞く。
介護保険料の関係もあるが、町内に施設の空きが入っている現状もある中で、早急に対策を講じる必要がある。

小値賀町民の大半は、国民基礎年金が主流で、個室ユニット型施設などの高額な施設への入居は困難である。
県の姿勢も、最低で12万円かかる個室ユニット型介護福祉施設が30%以上になったことから、今まで認めなかった多床室の増床を認める機運になっている。

この機を逃さず、他の

市町に先駆けて平成27年度中に増床できるよう、値賀の里(養寿園)に建設を促すことが重要と思われるが、町長の考えを伺う。

【答】西 町長

施設入居者が増加する中で、待機者が多くなっております。値賀の里からも要望書が提出されています。

直近のデータでは、55人が施設を利用し、グループホームの利用者が18人、居宅サービスが119人となっております。

小値賀町は、介護保険の保険者であり、直接、施設建設の考えはありませんが、最重要課題として積



極的に関与し推進すべきだと考えます。
早く着手するため、小値賀町介護保険事業計画策定委員会を開催し、答申を尊重しながら、施設整備を検討したいと考えています。

庁舎にエレベーター設置を

議会の同意をいただければ設置したい

【問】宮崎議員

庁舎の会議室が3階に偏っており、不便でバリアフリーの立場からエレベーター設置の声が高まっている。

以前、庁舎内の空調設備交換時に、財源問題で断念した経緯があるが、当時と比べて65歳以上の高齢者が45%以上となり、車椅子を利用するの町民は2階にも行けない状態であり、来町しやすい環境づくりは行政の責務でもある。

高齢者や障害者等の利便性を高めるため、庁舎内のエレベーター設置にどのような考えを持っているのか伺う。
それと、設置した場合の設置費用、辺地・過疎債の充当は可能か、また、財源の内訳も伺う。

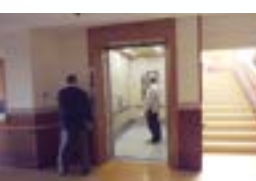
【答】西 町長

高齢者を含めた多くの人たちに行政への参加をしていただくためには、エレベーターは必要な設備ではないかと考えます。

費用は初期の設備関係で約3500万円、設置後の保守点検で年間60万円程度となります。

議会の同意をいただければ設置したいと考えています。

過疎債、辺地債は活用できませんが、役場庁舎整備基金があり設置費用の財源はあります。





土川重佳議員

ふるさと寄附金を増やす工夫をしては？

おぢかファンとの絆を強めていくことが大事



【問】土川議員

昨今は様々な自治体がふるさと寄附金（ふるさと納税）に対しては地域の特産物をお礼とするなど色々な特典を付けてふるさと寄附金を増やす努力をしている。

本町においては、昨年の特典として特産物のプレゼントをしているが、その後のふるさと寄附金の増加状況を伺う。

また、ふるさと寄附金の半額を小値賀だけに使えない金券・感謝券などを送るとか、金額によって特典に差をつける等、新たな取り組みを考えてもいいのではないかと。

さらに、一〇〇万円以上の高額納税者に対しては町に招待して、一日町長を任命し、議会とか職



員に対し訓示させるなど、新たな工夫をして財源の確保に資することが必要だと思うが町長の考えを伺う。

小値賀町では平成20年度から平成25年度まで6年間で述べ86件、総額826万4千円のふるさ

と寄附金を頂いています。

寄附者に対しては昨年度から金額にかかわらずじげもんセットと小値賀新聞など情報発信になりそうな物を送付しています。

『小値賀を応援したい』という気になっていただくためには、応援するに値する小値賀にする事が大事であり、寄附者とのきめ細やかな絆が大切と考えています。

寄附金を伸ばすためには、小値賀ファンとの絆を強めていく事が大事だと考えています。

そのためには各地の小値賀会と連携して、小値賀への思いを育て、ふるさと納税に繋がらないかと考えています。

小値賀会との交流を強

め、寄附金の制度を分かりやすくする等、これから十分検討させていただきたいと思っています。

大変ユニークな提案でもあり、傾聴に値するものと思っていますが、これまで特典をちらつかせて寄附を募るやり方には慎重でありたいと思っております。

これはどう考える？

ペット愛好者の為の火葬施設に対する考えは？

意向調査については実行してみたい



【問】近藤議員

近年、犬や猫など、家庭用ペットの末期の処理について問題になっているが、本町の場合は専門の業者がないことから、そのすべてを飼い主の手に委ねられているのが現状である。

ペットは愛好者にとって日々の暮らしのパートナーとして、無くてはならない存在である。ペット愛好者の方からペット専用の火葬設備の設置を求める声があがっている。

今後、施設設置に対する愛好者の声を聞いて、アンケートを取ったり、町民の声を聞いたりするなど、設備を設ける事は非についての町長の考えを伺う。

【答】西町長

現在は、ペットが死亡した場合は土葬をしていると聞いています。

小値賀町で登録されている犬は、一四三頭であり、死亡件数は平成23年度が10件、平成24年度が5件、平成25年度が13件となっています。

法律により、ダイオキシン対策のとられていない小型の焼却炉は設置は難しく、骨を残す火葬炉を整備する場合、30キログラム未満に対応する施設では建物を除いた設備のみで1千万円程度かかるようです。

また、骨を残さないで燃やしてしまう方式の火葬炉は三五〇万円から四〇〇万円程度かかるようです。

推測される利用者は年

間10件ほどであり、土葬であれば町としても対応出来るのではないかと考えています。現状では設置は難しいと思っています。

ただ、今後の問題として、イノシシの問題があり、県内ではイノシシも焼却してしまおうと言う声も聞こえる等、各市町村でもイノシシの処分に困っている現状がありますので、このような情報を集めながら検討させて頂きます。

また、意向調査については、春になると狂犬病予防接種がありますので、それらを利用して実施させていただきます。



世界自然遺産に登録された小笠原諸島からお客様

小笠原村議会議員 7 人が来島

空港や診療所を視察・「小値賀はもっと観光を」

2月20日東京都小笠原

村議会の鯨江副議長他7名が本町の空港、診療所視察のため訪れました。

視察終了後、役場会議室にて意見交換を行いました。

小笠原諸島は東洋のガラパゴスとも言われ大変貴重な自然環境とさまざまな歴史を有する島です。(ユネスコ世界遺産の自然遺産に登録)

その島の名前も大変ユニークで、父島を始め、母島、兄島、弟島、姉島、妹島、賀島、嫁島、媒島等々30の島から成り立っています。

人口は、2885人で若者が多く、高齢化率も9.2%で生産年齢人口率は75.7%です。

主な産業は、観光産業で30億円、漁業で5億円、農業で1.5億円です。

そんな島の最大の悩みは東京から1000km離れていることで、船で片道25時間30分かかり、船便も週一回程度しかない

事です。

高齢者が少ない主な理由は、「重病になったら死ぬしかない」ので高齢者は住めない」ということなので、空路の開設と診療所の充実が必須の課題だということです。

東京都は、小笠原に空港を造るには、800億円かかると試算し、建設に難色を示しているのだそうです。

空港開設と病院の充実、島民の悲願であり、また生命線です。それゆえに、離島であり人口規模も変わらない空港がある本町に視察に訪れたのです。

小値賀空港は15億円で出来たと言ったら、大変驚き、再度東京都と協議し、建設を目指したいと言っていました。

一方、診療所については、医師3人体制(うち歯科医師1人)であるが、急患が出た場合は、自衛隊の飛行機やヘリコプターを利用することのこと

です。

話も弾み、なごやかな雰囲気の中で、「小値賀の海は素晴らしい。是非海を活かしたスキューバダイビングをはじめ、自然景観を活かした観光産業に取り組むことを勧める」との提言もありまし

た。

大変有意義な意見交換が出来ました。またの出会いを楽しみにしたいと思います。



観光客からも人気の野崎島の美しい砂浜の風景

編集後記

「雪が解けて川になつて、流れていきます。つくしの子が恥ずかしげに顔を出します。もうすぐ春ですね。」

去る3月9日おちか音楽フェスティバルにて小値賀を元気づけようと出演したSASEBOキャンデイズの歌声で春の訪れを感じました。

2年間かけて、より良い町づくりを目指し、町民の皆様の意見を集約して作った小値賀町の新しい総合計画も出来ました。それを基に平成26年度当初予算も成立しました。

今後とも、皆様から、春のように来るのが待ちどおしいといわれるような紙面づくりに努めたいと思います。

皆様のご意見をどしどしお寄せください。お待ちしております。

松屋治郎